

ぶらり

奥州散歩道

Vol. 33

俳句の庵

(前沢区字七日町裏)



①俳句の庵と取材当日に句会を開いていた前沢俳句会の皆さん②庭園と一体化した眺めは心休まる空間③④俳句の里・前沢には55基の句碑が点在し、ふれあいセンターにはガイドマップを完備。庭園内には、木村元町長(③)と原田青児さん(④)の句碑がある



重

厚感あふれる前沢ふれあいセンターが建つ敷地の一角に、こじんまりとした日本庭園と茶室を思わせるような和風建築の建物があります。この俳句の庵は、旧前沢町が俳句の里づくりを目指すシンボルとして、平成元年に完成しました。

建物は15畳の日本間に縁側、湯沸し室のみの簡素な造りですが、障子戸を開放すると、庭園と一体となった趣のある空間が広がります。句会や茶会はもちろん、予約をすれば一般の会議などにも利用できます。庭園は自由に見学でき、今は赤や黄色に色付いた落葉が、急速に冬に向かう情景を表しています。

前沢区は、江戸時代から俳諧(俳句の源流に当たる)が盛んだったことが、古い句碑などで知られています。近年では、高浜虚子に師事した遠藤梧逸(本名・後一、昭和52年名誉町民)



が仙台で「みちのく」を主宰。農村俳句を提唱し、地元でも盛んに句会が開かれました。温かい人間味があふれた人を育てようという梧逸の遺志は、俳句の里づくりを推進した木村順一元町長(故人、俳号・臥牛)、「みちのく」を引き継いだ原田青児さん(静岡県伊東市)らによって守られてきました。来年20回目を迎える梧逸忌全国俳句大会には、区内小中学校全校から毎年2千数百句が寄せられています。

前沢俳句会の皆さんの「俳句は知れば知るほど難しいが、みんなで集まって、話し合いながら作るのが楽しみ」「鳥や植物などの自然をよく見るようになった。俳句は生きがい」という声に、脈々と受け継がれている心を感じられます。

◇問い合わせ◇市教育委員会事務局前沢支所(前沢総合支所内線333)へ

家族を守る、激震に耐える強い家

震度7に耐える丈夫な家が、あなたの家族と財産を守ります。

丈夫で長持ち

信頼の施工・品質

パナソニック耐震住宅工法
テクノストラクチャー
全棟構造計算書付!

木造住宅の常識を超える「新工法」。

木の温もりと鉄骨の強さを併せ持つオリジナル複合梁と接合金具を使用し、邸別に構造計算を行うことで、いつまでも安全で安心できる家を提供いたします。



新築・リフォーム
住宅に関するご相談は
お気軽に。

高惣建設株式会社 〒023-0829 奥州市水沢区花園町一丁目1番7号
TEL:0197-22-3111 FAX:0197-22-3120

お問合せ
ご相談は

0120-516-812
<http://www.takasou.net/>